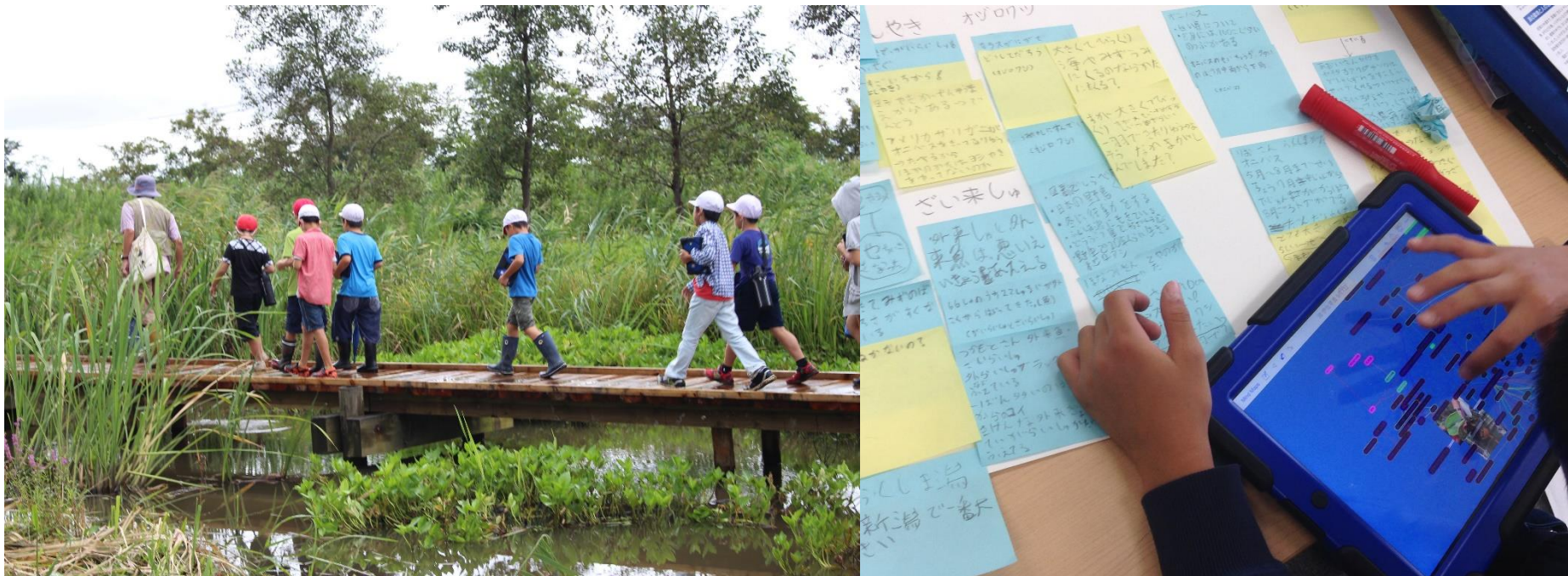


小学校3年生 総合的な学習の時間 「潟の環境改善プロジェクト」

潟での体験活動から、外来種の動植物が増えている問題に気づき、自分たちにできる潟を守る活動を行い、自然とのよりよいかかわり方を考える。(全30時間)



スライド作成の意図

～これからの「総合的な学習の時間」に必要な
3つの視点に沿った授業改善を行うために～

新たな学びの実現

- ・総合的な学習(探究)の時間では、実社会・実生活上の課題の解決に向けて、問題解決的な活動が発展的に繰り返される探究的な学習が行われる。そこでは、学校内外の多様な学びが展開され、両者は相互に作用しながら探究的な学習の質が高まっていく。**一人一人の児童が情報端末を持ちICTを活用することで、探究的な学習は学校から家庭、地域へと豊かに広がっていくことが期待できる。その際、オンラインを活用することで、時間と空間を超えた新たな学びが実現される。**

個と集団の深まり

- ・総合的な学習(探究)の時間では、探究的な学習が行われると共に、そこでは協働的な学習が期待されている。**一人一人が情報端末を持ち、自らの探究的な学習の履歴を自ら集積し、集積した情報を構造化したり再構成したりすることで、個において深い学びが実現する。また、ICTを活用して、手軽に瞬時にデータを交流し、協働することで集団においても深い学びが期待できる。**

探究の高度化

- ・総合的な学習(探究)の時間では、探究のプロセス(1課題の設定→2情報の収集→3整理・分析→4まとめ・表現)が発展的に繰り返されていく。**この過程において、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用しながら、情報の収集・整理・発信などの学習活動を行うとともに、情報や情報手段を意図的に選択・活用し、探究的な学習が高度化していく。**

詳しくは、文部科学省「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料」を参照のこと

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html



教材と出会う

1～10 時間目

潟に出向いて体験活動を行って親しんだのちに、
共通する問題について考える



使用アプリ：ロイロノートSchool

ICT：デジタル思考ツールで考えを整理する

潟は、とても豊かで楽しい。
でも、いろいろな問題があるようだぞ。

情報の
収集・
精査

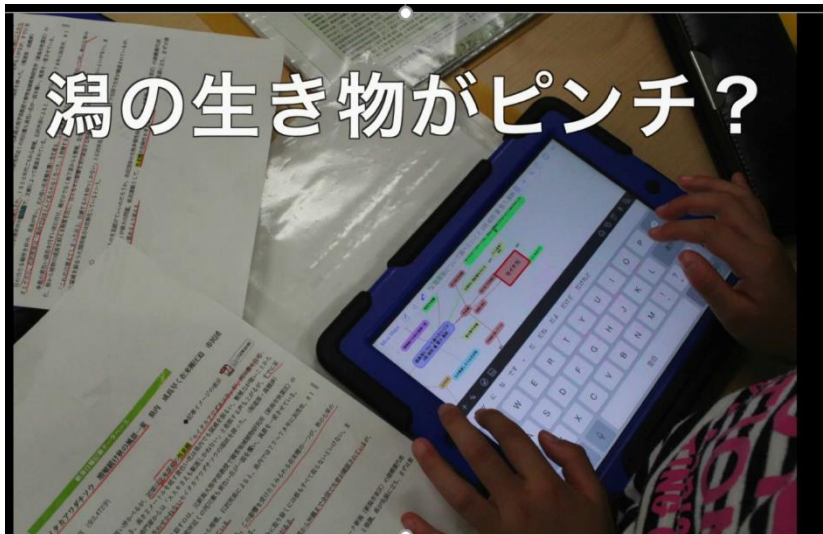
学習課題をつくる

11～13 時間目

潟で起こっている問題についてインターネットや新聞データベースで調べよう

ICT：ネットやデータベースで情報を収集する

使用アプリ：safari

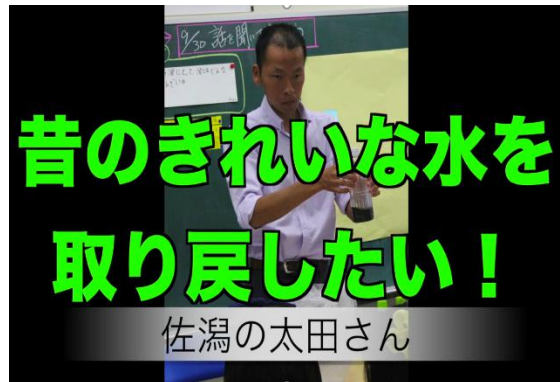
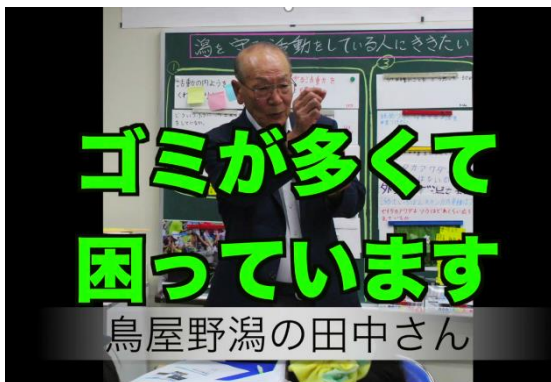


それぞれの潟で、問題に取り組む人がいる。
話を聞いてみたい。

情報の
収集・
精査

考えの
形成

潟を守る人々は、どのような思いで活動しているのだろうか



使用アプリ：SimpleMind

ICT：撮影やマインドマップでメモをする

潟には、いろいろな問題があり、守りたいという人の強い思いで守られている。自分たちにもできることはないか。

情報の
収集・
精査

考えの
形成

私たちにできる課題解決を行おう



情報の
収集・
精査

このきれいな花は、
すすきを絶滅させる
外来種！

ICT：写真や動画から情報を得て、考える

セイタカアワダチソウは、きれいに見えるけれど、毒を出して、すすきを絶滅に追い込んでいる外来種だ。抜いて、すすきを守りたい！

考えの
形成

考えを広げ深める

17～20 時間目

専門家と協働して、
セイタカアワダチソウを駆除する活動を行う



情報の
収集・
精査

ICT：体験記録を撮影しながら活動する

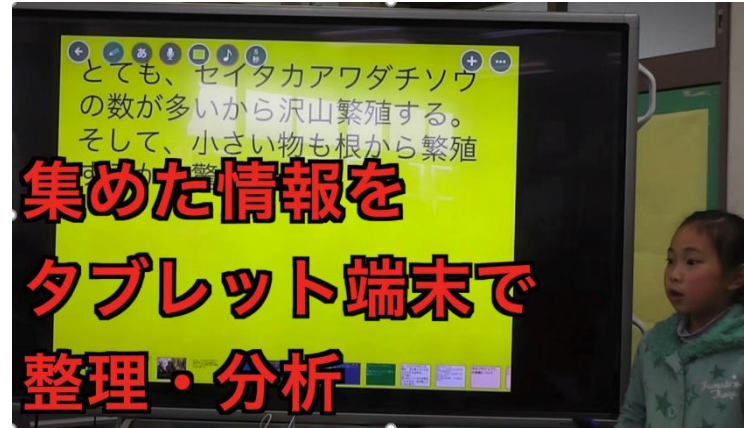
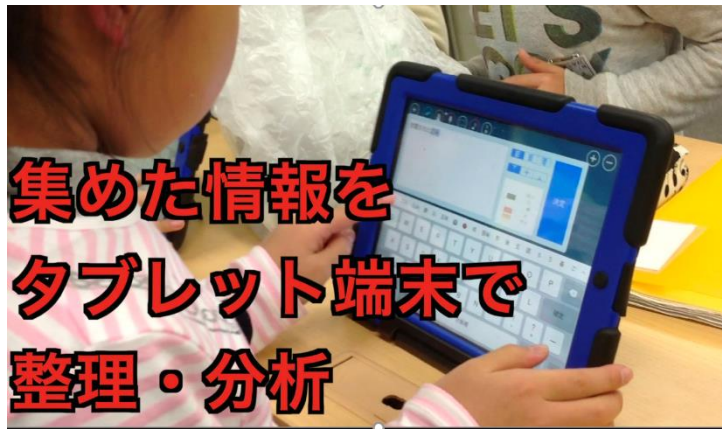
セイタカアワダチソウは、思った以上に抜くのが大変だ。でも、たくさん抜けたのはよかった。

考えの
形成

考えを広げ深める

21～24 時間目

活動をプレゼンテーションにまとめて伝え合う



アウト
プット

使用アプリ：ロイノートSchool

ICT：プレゼンレポートを作って伝え合う

セイタカアワダチソウが増える仕組みが分かった。抜いて、自然を守ることに貢献したが、より多くの人に伝えて、みんなで自然を守りたい！

考えの
形成

考えを広げ深める

25～29 時間目

他の学年に自然の大切さを発信する



アウト
プット

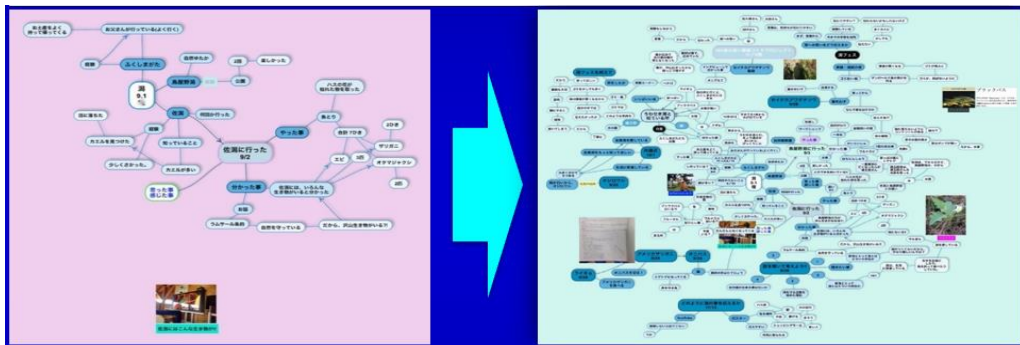
使用アプリ：ロイノートSchool

ICT：自分なりの方法で発信に用いる

自分たちの身近な人たちに自然の大切さを伝えて、自然を守ることに貢献できたぞ。

考えの
形成

評価規準を示し，学びのポートフォリオを基に，
自らの成長を振り返る



使用アプリ：SimpleMind

評価規準の提示

- ・ 自然への見方がどう変わったか考える。
- ・ どのような学び方が役に立ったか考える。
- ・ 自分の自然へのかかわり方を今後どうしていくか考える。

ICT：自分のプレゼンやマインドマップ等を集めたデジタル資料（ポートフォリオ）を見返す

専門家の人の話を聞いたり，情報を整理したりしながら活動することで，自然を守るには，自分が一生懸命守る活動に取り組み，若い世代に自然の大切さを伝えていくことが大切と気付いた。自然の大切さを伝えていきたい。

考えの
形成